

環境理念

山越株式会社は、事業活動が地球環境に与える影響を理解し、地球環境の保全と資源の節約に配慮した事業活動を行い、次の世代に豊かで住みよい環境を継承する事に貢献します。

環境方針

- ① 製品製造上の環境に配慮し、省資源を推進します。
- ② 資源の有効活用を図る為、廃棄物の発生を低減させ、リサイクル化に努めます。
- ③ 環境マネジメントシステムを文書化し、実行及び見直しを行い継続的改善と環境汚染の予防に努めます。
- ④ 関連する環境の法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
- ⑤ 環境改善に対する目的・目標を設定すると共に、その見直しを実施し継続的な改善活動に努めます。

この環境方針を全社員に周知徹底し、社外にも開示します。

2019年11月8日

山越株式会社

代表取締役社長 孫 怡満

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一1	二酸化炭素の売上高当たりの排出量を、2019年を基準として2022年までに1,550kg・CO ₂ /百万円に削減する
具体的な取組	(事業所または工場・施設での取組) ①コンプレッサーの容量調整の適正化による電力使用量の削減 ②生産加工条件の見直しによる電力使用量の削減 ③LED化を進める事で、電力使用量の削減 ④ボイラーの更新による、燃料使用量の削減 ⑤エアー関連機器の適正なメンテナンスにより、漏れや効率の低下を抑制する事で電力使用量の削減

目標一2	廃棄物の売上高当たりの排出量を、2019年を基準として2022年までに60トン/百万円に削減する
具体的な取組	(事業所または工場・施設での取組) ①紙管や段ボールなどの社内再利用を推進 ②木製パレットの再利用、修理しての利用を推進 ③分別の徹底により、再資源化を推進

<p>目標一3</p>	<p>水の売上高当たりの使用量を、2020 年を基準として 2023 年までに 5%削減する</p> <p>※2020 年より流量計測開始の為</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <p>①流量の計測記録による実態把握</p> <p>②節水関連の掲示、教育</p> <p>③熱交換で利用した水の再利用を推進</p> <p>④冷却塔の濃縮ブローの適正管理</p>

<p>目標一4</p>	<p>紙類の売上あたりの使用量を、2019 年を基準として 2022 年までに 0.4 トン/百万円に削減する</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <p>①紙管や段ボールなどの社内再利用を推進</p> <p>②コピー用紙の両面印刷や裏紙としての利用を推進</p> <p>③コピー用紙を用途によって古紙を含有している物を使用</p> <p>④コピー用紙サイズの見直しを推進</p>

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、製造部部長を環境管理責任者と
する環境管理推進室を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。